



輝け!!! 大國の子

R6. 7. 8発行 校長：青木 央

～めざす子どもの姿～

- 思いやりの心を持ち 助け合う子ども
- よく考え自ら学び 進んで表現する子ども
- 心身ともに健康で 進んで行動する子ども

ノーエンターテインメントデーへのご協力 ありがとうございました!

6月18日(火)～27日(木)までの間、上条中学校で27日(木)28日(金)に1学期の期末テストが実施されるにあたり、大國小や国母小をはじめ近隣の小中学校で連携して、中学校の学習強化週間中に昨年度と同様「ノーエンターテインメントデー」を実施させていただきました。小学校でも同時期に同様の取組を行い、弟妹もこの期間に合わせてエンターテインメントを利用する頻度をなるべく少なくし、家族そろって勉強する環境を整えたいと考えました。

「ノーエンターテインメントデー」に取り組む目的は、次の3つです。
①エンターテインメントなどで時間を浪費せず、勉強に集中するため。
②せっかく勉強したのに、エンターテインメントなどの情報で記憶が書き消されてしまわずに、勉強した分の記憶力を上げるため。
③睡眠時間を確保し、学習した内容を睡眠によって脳に記憶し定着させるため。
「ノーエンターテインメントデー」に取り組んだ様子などについて、保護者の皆様からご感想を多数いただきましたので、いくつかを紹介させていただきます。



- ◆1年保護者
テレビやゲーム等から離れる時間を、長時間ではなく宿題の時と限定しているので、動画大好きな息子でも、取り組みやすいです。
- ◆1年保護者
まだ勉強の習慣が身につけていないので自分の机でテレビは消して宿題をやるを目標に取り組みました。ノーエンターテインメントデーの取り組みと自分の目標を決めたおかげで1週間自分からすすんで机に向かって宿題をし、次の日の持ち物も確認して準備に集中してできました。
- ◆2年保護者
自分で決めた取り組みを8割ぐらい守れていました。残り2割は誘惑に負けていました。
- ◆2年保護者
普段の学習時より、改善した方がいいところを意識しながら学習に取り組むことができていました。毎日声をかけることで、意識付けと意欲の向上がいつもより感じられました。
- ◆2年保護者
レベル②に取り組みました。テレビやゲームをする時間を自分で考えながら頑張る取り組みができました。
- ◆3年保護者
帰宅後、自主的に取り組んでいました。内容も今日は何を学習しようか考えながら取り組んでいることは学年が上がり学習を深めようとしている傾向かなと捉えています。家庭では、単調になりがちな自学の内容のアドバイスをしておきました。
- ◆3年保護者
わからない所は一緒に考えながら学習に取り組みました。
- ◆3年保護者
友達との話題もネットやYouTube関連が多いようで、普段からエンターテインメント中心の生活になってることを痛感します。ノーエンターテインメントデーにすると退屈になるようですが、家庭で他の遊びを考えるきっかけになったので、良かったと思います。
- ◆4年保護者
自学では自分で考えてノートをまとめたり配分をしたりすることで、ノートのとり方やまとめ方が上手になったと思います。自分で理解しわかりやすく表す事が身につけてきました。

◆4年保護者

学習時間や学習に向かう姿勢にむらはありましたが学習頑張りカードがあることで、意識して取り組むことができました。今後の課題として目標設定の際にもう少し具体的に書く事、継続して取り組める内容にする等、もう少し工夫が必要だと思いました。

◆4年保護者

レベル①を取り組みました。体調不良のため、学校を休んでしまいましたが、取り組める時はしっかり出来ていたと思います。でも、ダラダラしてしまって自宅学習が長引くことがあったので、次はちゃんと出来たらなあと思います。

◆5年保護者

レベル①.②に取り組みました。家庭学習に集中して取り組むことが出来て良かったと思います。次回も頑張ってください。

◆5年保護者

レベル②に取り組みました。1週間ノーメディアで勉強できました。自学では普段の宿題ではやらない自分の興味のある事を調べてまとめたり、宿題で間違えた箇所を復習するなど、内容を決めてしっかり取り組みました。テレビやゲームの事を忘れ集中して勉強ができる良い機会になりました。

◆6年保護者

いつもより多い宿題でしたが、時間がかかりながらもノーメディアで学習に取り組んでいました。

◆6年保護者

宿題中は出来ました。夕食後から寝るまで、苦手な教科を復習する時間がとれました。



好意的協力的なご感想を多数いただき、心より感謝申し上げます。

数年前に実施された国際調査において、日本の子どもたちは、学校外でのデジタル機器の活用時間は世界第1位なのに対し、その時間を学習のために活用している割合は世界最下位という結果が報告されていたようです。この結果から、デジタル機器の使用時間のほとんどがゲームや動画の視聴等の娯楽のために利用されていることが課題として指摘されています。これから子どもたちが生きていく社会は、デジタル機器を如何に活用していくかがとても重要となります。そういった意味で、ただ単に「メディア」を使わせない指導から、学習のために有効に活用していく習慣やスキルを身につける指導にシフトしていくことが必要となると感じています。※『娯楽メディア』とは・TVやパソコン、タブレット、スマホ等を娯楽のために活用することとします。学校のChromebookによる調べ学習やニュース番組の視聴等は、積極的な活用を促してください。

今回の取組をきっかけに、ご家庭でもメディアの使い方について話題にしていただけだと思います。ご家庭でお子さまとよく話し合っただけでルールを決めることで、子どもたちも納得して、メディアとの関わりを考えてくれると思っています。子どもたちの健やかな成長のため、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

個別懇談ありがとうございました!

～保護者の皆様と顔を合わせて話をするととても貴重な機会となりました～

6月10日(月)～14日(金)は、個別懇談にご来校いただき、誠にありがとうございました。保護者の皆様と顔を合わせて、お子さまの学校での様子をお伝えしたり、家庭での様子を伺ったりするととても貴重な機会となりました。

今回の「ノー娯楽メディアデー」もそうですが、学校と家庭が連携し、子どもたちの豊かな学びのために取組を進めることはとても素晴らしいことだと思います。これからの未来の担う子どもたちのために、学校ができることと家庭で取り組んでほしいことがうまくかみ合ったとき、子どもたちの大いなる学びと健やかな成長が見られることと思います。

今回の個別懇談を機に、ますます担任との信頼関係を深めていただき、ともに子どもたちのために同じ方向を向けるようにご理解とご協力をお願いいたします。

